



根 延

2013
(平成25年)
10月1日

発行 ● 新島学園同窓会 中島信男
住所 ● 〒379-0116
群馬県安中市安中 3702
TEL ● 027-382-4073
FAX ● 027-382-4093



幹事 広報委員会
柏木義雄
15期 新潟県長岡市



副会長 広報委員会
田島裕子
24期 安中市



副会長 文教委員会
藤口光洋
20期 前橋市



会 長
中島信男
13期 高崎市



幹事 文教委員会
湯本直也
28期 前橋市



幹事 広報委員会
大塚真奈美
26期 安中市



幹事 親睦委員会
新井 篤
26期 富岡市



幹事 親睦委員会
斉藤達雄
19期 藤岡市



幹事 広報委員会
横山慶一
38期 富岡市



幹事 親睦委員会
山田恵一
37期 安中市



幹事 広報委員会
小森谷 剛
37期 高崎市



幹事 文教委員会
佐藤紀子
34期 高崎市



監査 文教委員会
小林栄郎
25期 高崎市



監査 親睦委員会
遠間徹也
13期 安中市



監査 親睦委員会
大塚忍志
13期 埼玉県熊谷市



幹事 親睦委員会
荻原昌弘
45期 安中市



幹事 広報委員会
高橋 司
42期 下仁田町

ごあいさつ



新島学園同窓会
会長 中島信男

このたび、同窓会長を仰せつかりました第13期卒業の中島でございませう。歴代の会長を中心に歴史と伝統を育んできた同窓会に對しまして心から敬意と感謝の意を表すると同時にその重責に身の引き締まる思いをしております。もとより力不足ではありますが、精一杯努力する所存でありますのでご指導、ご協力

のほど、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。
さて、同窓会は、会員相互の親睦と母校新島学園の発展に寄与することが目的となつています。前任の松本会長は、同窓会活動は肩に力を入れず自然体でそよ風のように出来ることが望ましい。各地区根笹会には、そよ風を起こさせるための緑陰

新役員のご紹介

よろしくお願いいたします

や樹木の役割を期待するとの認識を示され、新たに6地区の根笹会立ち上げに尽力するなど同窓会の目的を具現するため多大な成果を上げられました。
私は、歴代同窓会が積み重ねた成果を継承し、さらなる発展を実現していくためには役員全員が知恵を出しあい、明るく、楽しく、前向きに取り組んでいかなければならないと考えております。また、来年度は「同窓会会員名簿」を作成する年になつておりますので全会員の皆様のご理解、ご指導、ご協力を重ねてお願い申し上げます。
最後に、母校新島学園並びに同窓会会員の皆様の益々のご発展、ご活躍を心よりお祈り申し上げて挨拶と致します。

退任の挨拶



前会長
松本長光

2期4年間の同窓会長を退任にするに当たりましてご挨拶申し上げます。
まず心温まる限りないご協力頂きましたこと、この紙面をお借りして衷心より感謝、御礼申し上げます。
また基本的には我々がスムーズに歩けるような仕掛けとして同窓会のルールをお作り頂いた

た歴代同窓会長をはじめとする先輩方に改めて敬意を表したいと思ひます。
さて本部役員会といたしましては、同窓会の本来の目的である会員相互の親睦及び母校の発展をはかるべく各事業を実施してまいりましたが、以下の通り簡単にご紹介致します。

- ◎同窓会役員研修会の実施
第1回（学校経営について）
第2回（教育について）
- ◎各地区根笹会の立ち上げ
高崎、富岡、桐生、埼玉、安中、軽井沢 計6支部
- ◎コンサートの主催（37期中島の凱旋コンサート）
高崎たまごホール
- ◎親睦ゴルフの開催
年1回
- ◎同窓会新聞。ホームページの

『就任6ヶ月、そしてこれから』



校 長
岩間秀彬

私は、4月1日に新校長として就任しました。同6日の入学式の式辞で、新入生の皆さんに、二つのことをお願いしました。一つは、「感謝の心」を直ぐ口に出して、「ありがとう」と言うこと、二つ目は、「夢と目標を持ち、その夢の実現に挑戦すること」でした。このお願いは、生徒達に言い続けていくつもりです。
また、教職員の皆さんには、「すべては、生徒の成長のために」を合い言葉に、チームワークを

大切にして行くことを、強調しました。今、まだ6ヶ月ですが、「すべては、生徒の成長のために」の合い言葉が、何人かの先生の口から自然に出てくるのを耳にします。
私の北高崎からの電車通勤も、今はもう生徒達に違和感無く、自然と溶け込んだ姿で受け入れられているのを感じます。最初の1～2週間は、当然、新校長の顔など知るよしもなく、ある日、学園から駅までの徒歩帰りの途中、雨が降り始めて、前を歩いていた生徒に傘を差し掛けました。その生徒が卓球部の生徒と言うことで、福原愛ちゃんの話で盛り上がりましたが、駅近くになって、その生徒が突然、「おじさん、何処の会社に勤め

作成

- ◎各地区根笹会総会への参加
9支部
- ◎各学校行事への参加
- ◎学生に対する根笹賞の贈呈

以上概要です。また、同窓会の運営にあたり本部役員は同窓生の代表として会をお預かりする訳ですから見識をもって運営して行こうということで3つの心構えを原則と致しました。

- ①同窓会を政治活動に利用しない
- ②学校の経営、教育、人事に口出ししない
- ③学校に対する営利活動は差し控える

最後になりますが新生同窓会本部役員会が、新しい力を発揮されて、同窓会の益々の発展、母校の成長、発展に寄与されることを祈念申し上げ退任のごあいさつと致します。

ているの？」と自然な口調で問いかけてきました。こちら事も無げに、「君の学校の校長だよ」と言ったら、ぎょつとしたのが可愛くもあり、印象的でした。こんな、小さなエピソードに、毎日、いろいろな形で出くわした6ヶ月でした。

私は、企業の出身ですが、生徒の皆さんもやがて、社会に出て、企業にも勤める機会もあります。社会や企業が何を求め、どのような人材を求めているかについては、肌身感じて知っております。新島学園の6年間にどのような生徒像を目指して育成していくかについては、お役に立てると思います。

また、新島学園の卒業生ではありませんが、私は、クリスチャンですから、2年間新島学園の理事を務めさせていただいた中で、クリスト教精神に基づき、新島襄先生の生き方に感銘し、「一人一人は大切な人」の教えに基づき、建学精神によって、生徒の教育に関わることは、自分の信条と一致することです。

不易流行という言葉がありますが、新島学園の不易の伝統は、しっかり生徒の心に植え付けながら、流行の部分は、新しい時代の変化を敏感に捉えて、生徒の養育にも日々新たなものを取り入れていくつもりです。

ここで、あらためて、新校長としての今年度の教育方針に触れておきます。
「すべては、生徒の成長のために」を合い言葉に、生徒の育成として目指すべき姿は

- ①何事にも感謝の心を持つこと
 - ②夢を持って将来の姿を描ける力をつけること
 - ③その夢の実現に向けて挑戦する力をつけること
 - ④常にグローバルな視点でものを見、考えられることです。
- この方針に基づいて、社会が求める人材を育てるに当たり、

新島学園の教職員の力を、ある一つの方向に結集して行く「しくみ」がほしいと思いました。教育現場では、一般に、チーム力の不足が考えられます。新島学園でも健全なチーム力の育成が、「しくみ」作りの鍵になると思いました。

教師一人ひとりとは、極めて専門性が高く質も高いのですが、どうしても個人商店の乱立状態で、ショッピングモールのような全体コンセプトを明確にしたアプローチが見受けられません。教職員の個性を尊重し、個性豊かな才能に磨きをかけ、それを相乗的に生かすチーム力をつけることにより、私学としての生き残りと発展を計っていきたくと願っています。

教育現場でのチーム作りとして、下記に示す7つの心得を、今、教職員と共に学んでおります。

- 1. 「やらされた」ではなく、「やりたい」というチームを作ろう
- 2. 「否定語」を「肯定語」に言い換える心を持つとう
- 3. 最低限の原則を守り、最大限の自由度を持つてやろう
- 4. 問題こそが、チャンス之源と考えられるチームになろう
- 5. 相手の痛みを敏感に感じるチームメンバーになろう
- 6. 問題を常に相手の立場から見られる度量を持つてやろう
- 7. チーム力の最終目的は、相乗効果を生み出すことと知ろう

最後に、毎朝の礼拝によって、すべてが始まる新島学園の年間聖句を記して、筆を置きます。
「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも、感謝しなさい。」

(新約聖書 テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章 16節～18節)

新四会 (新島学園4期生の会)

「友はわが師 新四会だより」総集編

刊行のご紹介

新島学園4期生の会である新四会は、新島学園及び関係者の皆様への熱い思いや現在の心境等を記した「友はわが師 新四会だより」総集編を刊行されました。同書は、4期生前後の同窓生の皆様にとつて草創期の新島学園に思いを馳せるものであるだけでなく、それ以降の同窓生にとつては新島学園の原点を知るためのものとして、大変貴重な文献であると考えます。

そこで、新四会会員である吉田昭悟様のご協力をいただき、その内容の一部を抜粋する形でご紹介させていただくことにいたしました。

はじめに

このたび新四会（新島学園4期生の会）では、新島学園で学んだことへの感謝と熱い思いを冊子にして2012年12月12日に刊行しました。

内容に一部を紹介させて頂きますので、関係の皆様にご高覧いただき、新島学園への思いを共有できれば望外の幸せです。

1. 刊行の動機

新島学園の4期生である私たちが、新島学園中学校を卒業し

て60年、高校を卒業して57年になります。

私たちが32歳～41歳の時に発行した「新四会だより」（創刊号～8号）。その「新四会だより」をあらためて読んでみると、先生方の貴重な文章とともに、若き日の私たちの姿が、いろいろな形で刻印されています。

今は亡き友の文章もふんだんに残っています。

加えて、現在の私たちの心境を文章にして一冊の本にまとめてみたら、案外に良い記念碑になるのではないか……自己満足でしょうか。

この提案を新四会の皆さんにお知らせしたところ、思わぬ反

響を呼び、寄稿や寄附の形で強力な賛同をいただきました。委員も意を強くして、文字どおり老骨に鞭打ち、ここに目出度く刊行の運びとなりました。

それにしても、関係者以外の目から見たら（恩師の文章は別にしても）文集として、噴飯ものでしょう。しかし、委員の一人が、「こんな事を呟いたのです」。

「200年くらい経って、初期の新島学園の姿を研究する学者が現れてこの本を見つけたら、貴重な資料が見つかったと小躍りするのではないかなあ」と。

そんな未来の夢もイメージしながら、鳩首を重ねて出来上がりしました。人生という劇場で、それぞれに与えられた役を演じ終えて去った恩師や友。間もなく私たちの演技も終わります。

どうか、友はわが師・師はわが友”の気持ちで、この総集編を手にとってください。

…このささやかな文集を今は亡き恩師・友に捧げます…

新島学園が創立の精神をしっかりと受け継ぎ、「良心の全身に充満したる丈夫」を輩出し続けることを祈りつつ。

2012年 秋 編集委員

2. 『新四会の由来』

篠原 博 先生

新四会の名前については、一番最初の同窓会の時に、吉田君だったか誰だったかに何と云う名前にしたらよいだろうかと相談を受けましてその時にまあ、新島の四期生で、やがて皆紳士になるわけですから、紳士の集

いで「紳士会」Ⅱ「新四会」、もう一つは、お前達は「紳士かい？」と、それから、あれでも「紳士かい？」（笑）、と言われないようになってほしいと言う願いも込めて「新四会（紳士会）」と言う名前が非常に良いんじゃないかと言うことになったわけであります。ところが、この前も、今日も、こうして見えていますと、お会いする度に段々紳士の集いになっていくようでありまして、なかなか結構なことであります。

1969（昭和44）年1月1日

同窓会録音より

3. 総目次

〈グラビア〉

新島襄先生、新島学園 教育の五原則、中学一年時の校舎や土間の礼拝堂（講堂）内、妙義登山（中学）、中学・高校卒業写真、学舎の変遷、歳を重ねていく同期会（6枚）、1968年（32歳～1977年（41歳））に発行した「新四会だより」創刊号から8号のB5判手づくり総頁312頁の表紙

I 師はわが友

（恩師14名の寄稿と便り）

II 友はわが師

（会員13名の寄稿）

III 会員訪問インタビュー

（会員6名を訪問したもの）

IV 同窓会実況録音

V （同窓会6回の実況録音）

会員アンケート結果

（2回行ったアンケートの結果）

VI 各号のお知らせ・編集後記

（「新四会だより」創刊号～第8号のお知らせ・編集後記・恩師やその家族からの手紙）

VII 2012年の私たち①「同窓会実況録音」

（2012年3月18日（日）～19日（月）開催の新四会「75歳

榛名の森カントリークラブ (旧 響の森カントリークラブ)

営業 小山 哲弘 (23期)

〒370-3401

高崎市倉渕町権田

☎ 027-378-4333

FAX 027-378-4322

平成クリニック

石井 弘子(20期)
石井 宏和(56期)
石井 万貴(56期)

〒370-1133

玉村町大字上新田1648

☎ 0270-65-8888

FAX 0270-65-8787

公認会計士・税理士 田島龍一事務所

田島 龍一(19期)

〒379-0116

安中市安中2-4-30

☎ 027-380-5539

FAX 027-382-6433

利根電気工事株式会社

代表取締役 熊木 義隆(19期)
倉林 章中(13期) 富田 雅治(19期)
和田 佳人(21期) 阿久津 洋(33期)

〒371-0837

前橋市箱田町565-1

☎ 027-251-2344 (代)

FAX 027-254-1474



妙義遠足（中学3年生）－1951（昭和26）年5月17日－

て来て、「先生のおつしやる図書

館もよいが、一歩進めて学校に

してはどうだろうか」とのこと。

「いやあ、それに越したことは

ない！ そうだ、そうだ!!」と

私は大賛成。この話から、以前

立消えになった新島先生を記念

する学校設立の幻がよみがえっ

た。場所としてはじめ、鷲の宮

辺を考えたが駄目、碓氷川畔、

久芳橋の向う、もとの軍需工場

跡と決まった。校名は勿論「新

島中学」、開校は終戦の翌々年、

昭和22年（1947）の春、男

子校（共学はずっとあと）だか

ら5月5日の端午の節句がよい

ときめ、官庁への手続き、組織、

職員構成、校舎の整備など、

万端の用意。が、はたしてどれ

程生徒が来るだろうか、と内々

気にした。ところが、いよいよ

蓋をあけてみるとなんと80名！

そもそも、新島先生が明治8年

（1975）京都に同志社を開

いたときの生徒の10倍ではない

か！ 私はこおどりました。とい

うのも、先生のお名前「新島」

が物言つたと、今も私は思っ

て

1977（昭和52）年10月31日発

行「新四会だより」第8号より

5. “学園の今昔”

今井悦郎

学園に入学してからもう20年

になります。当時の学園は現在

一番古くなった、あの山小屋風

な校舎が一棟、ベランダに小さ

な鐘があつて、それが始業終業

味では特殊社会のなかで生活し

ていると、「医」の関係をのぞい

ては比較的共通の話題も少なく

平面的なつき合いに終わり、な

かなかいわる裸のつき合いは

出来ないものであるが、その意

味でも、新島時代の友人とは家

族ぐるみのつき合いをさせても

らい、周囲の同僚からも何かと

うらやましがられている程であ

る。そのうえ、実利的にみても、

多様の職業の人間と親しいとい

分かれて入りました。

私達の唯一の願いは、早く新

校舎に入りたい、ただそれだけ

だったかもしれない。

6月1、2日両日久しぶりに

学園に行きました。学園は美し

くなりました。新しく理科教室

と体育館が出来ました。それに

もう一つ画期的な事は男女共学

になった事です。父親として喜

び、同窓生として遅きをうらむ

心境です。

1968（昭和43）年7月28日発

行「新四会だより」創刊号より

6. “交友”

吉田 悟

水上でのクラス会を終えてー

つい先日の水上演泉での学園

創立30周年記念の同期会（新四

会）では、多数の恩師や旧友と

会うことができ、非常に楽し

かった。それにしても、わずか

1年半足らずの新島生活であつ

たにもかかわらず、多くの友人

を得、その後も現在にいたるま

で交友を持ち続けられているこ

とは、非常に幸せと常々思っ

て

7. 新島学園の思い出

上原常宏

私が学んだ学校（小、中、高、

大）の中で最も思い出の深い学

校は何といつても新島学園です。

新島学園にお世話になったのは

たった3年間ですが、この間に

学んだ数々の教えが私の人生に

少なからぬ影響を与えた様で

す。

(1)キリスト教の基礎を学んだこ

と。

新島学園に入学していなかつ

たら、多分聖書も読まなかつた

であろうし、従つてキリスト教

に関する知識、理解度も極めて

貧弱なものであつたのであろう

事

も

事

実

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

8. 自分の人生をふりかえって

佐藤 豊明

75歳を過ぎた今、自分の人生をふりかえってみて、新島学園を卒業したこと、いや、新島学園を卒業させてもらったことを心から感謝しています。私にとってすべてはそこから始まりました。

太平洋戦争の末期、私は東京の赤羽に住んでいました。街に焼夷弾が落とされ始めて危険になつてきたので、小学校低学年であつた私は母や妹たちと一緒に群馬県の坂本の父の実家に疎開させられました。疎開つ子のほとんどがそうであつたように、私も地元の悪童に徹底的にいじめられました。

そのまま、新制中学（戦後に出来た新制度の公立中学）に進学したら、いじけた人間になつてしまふだろうと心配した父母が、貧しい家計をやりくりして（父はただの国鉄職員、いわゆる「ぼっぱや」でした）私を新島学園に出してくれました。キリスト教に全く関わつていなかった父母がよくぞ出してくれたと今でも言葉に尽くせないほど感謝しています。

新島学園に入つて、もういじめられる心配のない別世界に居ることを知りました。水を得た魚のように喜々として通いました。徒歩と汽車で片道1時間以上かかりましたが、全く苦にならないうちが楽しくて仕方ありませんでした。

坂本の清流（碓氷川の支流）にはヤマメやイワナが生息していましたが、下流の碓氷川にはハヤやギユウタという今まで知らなかった魚が棲んでいて、学校帰りにそれを捕まえて空になつた弁当箱に入れて持ち帰つたりしました。

そんな楽しい中学時代が過ぎてやがて高校に進学すると、さ

すがに多少は大人になつたのでしよう。宗教、即ちキリスト教に関心をもち、年に一度の伝道週間に東京から来る有名な牧師の説教に感動し、高2の夏に受洗しました。湯浅、吉田（照悟）、寺田、高林らと宗教部を立ち上げ、ひなびた霧積温泉や軽井沢へ行つて、聖書を読み、讃美歌を歌い、祈りました。今から思うと、何をやっていたやら、冷や汗が出ます。けれどもこの頃が、私の人生で最も真面目な時期だつたようにも思います。湯浅、吉田（照悟）とは、特別親しくなりました。

さて、しばらくご無沙汰していた教会に15年ほど前からでしようか、夫婦で時々通つています。プロテスタントからカトリックに改宗しました。やりた

い放題の事をやつて最期に懺悔（告解）をして天国に行くパターンを、カトリックでは俗に「天国泥棒」と言います。私もその泥棒の一味と言われても仕方がありません。けれども死後の世界は信じていますが、お花が咲き乱れて、羽の生えた天使が飛び交うような所を想像してはいません。人間には想像できない、全く次元の違う世界だと信じています。そうした人生観に導いてくれたのが、新島学園で出逢つた良き師、良き友、良き書（聖書）です。そしてそれが晩年の今も生活の支えになっています。新四会からも寺田仁計という聖職者が出ました。私たちに出来なかつたことを彼がやつてくれました。寺田に大きな拍手を贈ります。

9. 私の近況とシルクロードの旅

湯浅 太郎

私は別に何を考えるのでもなく、朝5時に起き、夜は10時に床につき、規則正しい生活をしていると勝手に思い、健康に気

をつけ、息子や関係者の様子を温かく見守つて行きたいと考えておりますが、一方、車にばかり乗つていて足腰は益々弱くなつてくるにも拘わらず、自分では若い時の体力を維持し続けていると勝手に思い込んでおります。

中学の頃、安中教会に金蘭という青年会があり、そこで何回か、アラビアン・ナイトの話を聞かされ、キリスト教の話とは違つた魔法や美女や夢のような世界の話に想像が果てしなく広がつたことがあります。この経験が今の私に影響を与え続けて居るのではないかと思う。

イスラムの国、トルコに行つた際、中学の時、聞いた例の話が俄然、頭をもたげ、イスラムの地をもう少し探訪したいという意欲がわいてきた。

そして、此処トルコが中央アジア、長安、奈良へと続くシルクロードの終着地であることを知り、この古の道に思いを馳せ、今度はこちら側のシルクロードの出発地を見てやろうと思つた。

そして、何の準備もなく、足の衰えも顧みず、西安以西の旅に出てしまつたのである。

現在のシルクロードは月の砂漠の歌で歌われる昔のシルクロードは影を潜め、砂漠には高速道路が伸び、その両脇には風力発電の風車が林立し、石油掘削や製鉄の工場があつたり様変わりである。

土地の広さや其処に眠る資源を思うとき、うらやましいような、また、圧倒されるような感じを抱かせられるのは私ばかりでは無いと思う。

この広い熱砂地帯を三蔵法師がインドまで往復したとは全くの驚きである。私はこの地区を短期間で回つたため、ホテルに着くのが、朝2時であつたり、夜行列車の移動では朝4時に降ろされたり、見学する城壁や関所等が皆巨大で、熱い乾いた大

地の上を登つたり、下つたり、足の弱い私としてはハアハア言いながらエネルギー確保のため、肺の奥まで酸素を入れなくてはならず、行動中、中国の雑菌を全て吸い込んでしまった。お陰で気管支炎になつてしまい、帰国後、暫く苦しんでいた。

今回の最大の目的であつた敦煌は砂漠の美術館と云われるだけあつてさすがに素晴らしく、その石窟は全面が壁画で覆われ、当時の絵の具も白以外は殆ど劣化せず残り、効果を發揮している。当時、金と同じと言われたラピスラズリの青が薄暗い壁画から浮かび上がり、何ともいえない崇高な雰囲気を感じ出している。信仰の力はすさまじいものだとあらためて感じ入つた次第である。今回は体力の限界を試すような旅であつたが、敦煌を体験できたことは望外の幸であつた。

10. 一枚の瓦

横山 昇一

振り返つてみれば既に20年が経過している。

当時私が専務理事を務めていた「信用金庫」は、組織全体を見直すトータルCI活動をすることに致しました。

トータルCIといつても一体何にどうやつて取り組んだら良いのか分からない。考えあぐねた末に思い出したコンサルタント会社のリーフレットに瓦屋根が連なつたヨーロッパの古い町並みが描かれ、そして『小さな瓦が集まつて屋根をつくり家になり街をつくつていく。一枚の瓦もおろそかにできないように一人をおろそかにしない。それが我が社の願いです』という言葉が小さく添えられておりました。その言葉は強く私の心を捉え、早速にこの会社とコンサルタント契約を結ぶことといたしました。

20年を経た今、あの時「一枚の瓦もおろそかにしない」という言葉に共鳴をした私の心の原点は新島学園中学校で受けた教育、江川先生、柏木先生、山崎先生そして名を挙げだしたら限りのない大勢の先生たちから与えられた「一人ひとりの生徒を大切にする」という思いであつたのだということをしみじみと感じております。

11. 新島学園への私の思い

吉田 照悟

1949（昭和24）年、新島学園中学に4期生として入学した。

毎日朝の礼拝から始まり、そこで初めて聖書と讃美歌を手にした中学生。75歳になつた今でも昨日のことのように一つ一つが楽しく蘇ってくる。一クラス55名の二クラスの中学一年生。江川榮先生（校長事務取扱、安中教会牧師）の宗教の授業で一学期は「新島襄伝」を学んだ。「新島先生は：」で始まる授業で新島先生のこと・キリスト教のこと・新島学園精神のことを学んだ。

そして富岡正男先生作詞作曲の「晴れわたる青空く緑の丘清き流れ、友はわが師・師はわが友」そのまゝに学園生活を謳歌した。熱い思いを持ち、一人一人の生徒を大切にしてくる先生に学ぶ幸せを誰はばからず楽しんだ。

4期生同窓会は、高校まで6年間学んだ者、高校は他の学校へ行つた者。そして、高校から入学した者。それら皆一緒に「新四会」（新



新四会「七十五歳を語る会」同窓会
於：磯部温泉 林家旅館
― 2012（平成24）年3月18日 ―

島学園四期生会」として思いを一つにし、今までに20回程行っている。高校は他校へ行つた者も多数出席し、新島学園で学んだことをエピソードと共に生き生きと語り「人生の価値観・大切なことを学んだ」と感謝している。

中学・高校の時代は人間形成にとつて、とても大切な時だと言われるが、中でも中学生時代はとて大切で、人生の始めの時だと思ふ。

今、76歳になろうとしているが、キリスト教精神に基づく人格教育を土台にした教育環境の中で「良き師・良き友・良き書（聖書）」に出会つたのである。生きゆくうえの価値観は、新島学園で学んだ。キリスト教精神のこと、新島襄先生のこと、先生方の生き方と情熱に感化を受け啓発され学園生活の中で培われたことを心からありがたく思う。人生の終わりは始めにかかつている感を深くしている。

株式会社 並木

静 朋人（32期）

〒379-0133
安中市原市587-1
☎ 027-382-0730
FAX 027-381-1125

加藤金属工業株式会社

専務取締役 加藤 暢宏（31期）

〒370-2464
富岡市南南蛇井61
☎ 0274-67-2311
FAX 0274-67-3896

株式会社 石井設計

代表取締役 石井 繁紀（31期）

〒371-0805
前橋市南町4-29-1
☎ 027-221-1717
FAX 027-243-1415

冬木工業株式会社

代表取締役社長 大竹 良明（27期）

〒370-0841
高崎市栄町27番15号
☎ 027-323-5008（代）
FAX 027-328-1100

退任の挨拶



前校長
市川平治 (15期)

2012年度末をもって、中学・高校の校長を退任致しました。

在任6年の間、私のような者を励まし支えて下さった、多くの同窓生の皆様に心から感謝申し上げます。私にとって、『後輩たちと共に過ごす』学園での毎日、本当に意義深く充実した日々でありました。有り難うございました。

そして、校長を務めさせて頂きながら改めて実感した新島学

園の魅力は、教師も生徒も、多様な個性や能力がそれぞれに尊重され、大切にされるという、私たちが在学した時代から一貫して変わらない校風であろうと考えます。

生徒にも教師にも、一部の人の価値観が押し付けられることのない、新島学園らしい自由な精神が、脈々と受け継がれていくことを願っています。

これからも、新島学園が新島学園であり続けることを切に祈り、母校のさらなる発展をご期待申し上げて、退任のご挨拶と致します。

恩師からの便り

新島学園の卒業生であり、かつ、長年にわたって学園で教鞭をとられた須田幹生先生（在職期間…1981年4月1日から2009年3月31日）及び神戸弘先生（在職期間…1980年4月1日から2012年3月31日）に、学園在籍当時の思い出や近況報告等をご寄稿いただきました。

必要な時こそ



須田幹生 (11期)

皆さん、こんにちは！
中学1～2年生の頃に、学園で萩原先生から「農業」を習い、ネギを植えたのを憶えています。家でも少し田畑があり、手伝ったこともあって、畝立てなどをするのは何とかできました。そのときできたネギは、収穫までできなかったのですが、どうなたかわかりませんが、土に親しむことはできました。

それが、今になって幼稚園児のために「ベニアズマ」というさつまいもを約500株ほど育てています。学園の卒業生が、

幼稚園関係の仕事をしており、「収穫体験をさせたい」という願望を私に伝えたからです。昨年までやってくれていた方が、今年からしなくなったためでした。

5月の連休から畑（休耕田）と苗の準備にかかり、雨後の暖かい日を選んで、苗の植え付けをしました。ことしの5月連休後は、快晴に続く快晴で、6月までほとんど雨らしい雨が降りません。いや、まいりました！

3～4日ごとに水やりをしないと、苗がどんどん茶色になっていくではありませんか！ 約750㎡ほどの畑ですが、約500株の苗に、1株ずつたっぷり水をかけると、約3時間かかります。かける水も、水路にチョロチョロ流れているものをせきとめ、汲み上げて運び、他へ流さないようにしないとダメですね。2～3回／週の割合で、水くれの毎日が、6月半ばまで続きました。

アフリカの少年が、学校に行

かないで、毎日遠くから水汲みをしている姿を思い出しましたが、私の場合は、幼稚園児の笑顔が何ヶ月か先に見られると思うと、やりがいがありました。

さつまいもは、根のない苗を植えますので、根が出て、土に入り込んでくるまでは、水が一番大切なのです。5月の快晴は、とてもよい五月晴れで、あげた水も、半日くらいで乾いてしまします。夕方まで水を汲んで、貯めておき、毎日場所を変えて、1株ごとに注意をはらい、早く根が出るように祈りました。

さつまいもにとっても、ここで一番必要なのは水であります。一方、幼稚園児にとって必要なのは、友だちと協力して、これからさつまいもを掘ることです。そして、煮たり焼いたりして食べて味わい、自分の体をつくることです。甘くて、おいしければ、さつまいもがどのようにしてできたのか考えられるようになりますと思います。もう一歩考えが進められれば、さつまいも以上の収穫だと思えます。

さつまいもの一生は4～5ヶ月で、体をつくる栄養成長の時期は3～4ヶ月でしょう。しかし、人間の場合は一生がずっと長いものです。さつまいもの苗の時代には、水が命を支えてい

ましたが、人間の場合には、水だけではなく、食物、それに友だちと遊び、協力することなど、その成長の時期によって、必要な刺激が大切です。

私は、「人は、パンのみが必要ではない」と言われ、学んできました。もう少しわかりやすく言えば、生物学的にパンが必要などときと、それにプラスするものが必要ときがあるとするほうが、よいのではないのでしょうか。成長の過程で、必要なものが、必要に応じてうまく与えられれば、まあなんとか人に成長すると思います。人は、なかなか一人では学ぶことができませんが、友達や仲間がいると学べるものです。確かに、学ぶことは学校だけでなく、家庭や社会でも十分学べますが、体系だったり、論理的に、効率よく学べる場合は、学校等でしょう。

学ぶチャンスは、誰にでも与えられています。自分の力を高めることは、社会にも役立ち、ひいては自分に帰ってくるものです。まずは、自分の興味や関心のあることから深め、周辺へ延ばしてゆくと、本当に何をしてもおもしろくなり、おもしろ味が深くなっていくものです。

「何をやってもおもしろいよ！」と言う人がいます。その境地にいくまでは何年とかかるでしょうが、学ぶことはいくらでもあります。元気で、若くいられるというのも、おもしろいことに熱中しているからだだと思います。

家族のために、自分のために必要な時に、必要なものがわかるようになるまで学んでみようではありませんか。TVや本、いろいろな職種の人とめぐり合うこと、ラジオなどで見たたり聞いたり、投稿したりすることによって、全国の人の知恵やつながりが感じられることも、大きな刺激になります。学ぶことが一生の宝になれば、こんなによいことはありません。

新島学園と私



神戸弘 (14期)

私は三十代の前半から新島学園にお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。これまで、先生方や保護者、生徒の皆さん、学園を応援して下さい方々のお支えによって歩んでくることができました。

すでにご存知の方も多いと思いますが、私が生徒として、教員としてすごしてきたささやかな体験の中からいくつかお話をさせていただきます。

柏木隼雄校長先生は礼拝堂（旧木造平屋）ができたがってからしばらくの間、礼拝堂の鍵をご自分で持っていて誰にも渡さず管理をしていたということを武井弥太郎先生から伺ったことがあります。また、柏木寛吾先生は、夏の暑い盛りの時でも草むしりをしてるんだ、と聞いたことがありました。隼雄先生にしてみれば支えて下さる皆さんのお気持を思っているということもあつたでしょうし、神様から託されたというお気持があつたかもしれないかもしれません。寛吾先生においても同じ様なお気持であつたと思われてなりません。

柏木義田牧師は非戦平和主義者であつたことは周知の事ですが、それと共にキリスト教伝道についても大変なご苦労があつたことと安中教会の会員の方々から聞いたことがあります。

朝早くに弁当（にぎりめし）と思います）を持ち、下駄履きという恰好で碓井郡（現安中市）をはじめ各地を歩いて回つたとのことでした。学園には各地から生徒の皆さんが集まって来てい

株式会社 みなとや

田中 栄司 (33期)
田中 大喜 (63期)

〒370-3342
高崎市下室田町1123
☎ 027-374-0122
FAX 027-374-1800

有限会社 池田組

代表取締役 池田 繁一 (34期)

〒370-0066
高崎市山田町63-2
☎ 027-323-2441
FAX 027-324-3583

株式会社 藤岡モータースクール

代表取締役 長 克優 (34期)

〒375-0023
藤岡市本郷字寺山1390番地
☎ 0274-23-6666
FAX 0274-23-6668

有限会社 ジーワイ燃設

代表取締役 山崎 哲 (34期)

〒379-0116
安中市安中4丁目5-3
☎ 027-382-2891
FAX 027-382-6154

貸衣装 美鈴

大野 晋吾 (34期)
大野 慶吾 (64期)
大野 将希 (68期)

〒370-2316
富岡市富岡3022番地
☎ 0274-62-2806
FAX 0274-62-8086

有限会社 高崎保安機材

陳 美穂 (旧姓 早川) (34期)

〒370-0883
高崎市剣崎町113番地
☎ 027-344-1811
FAX 027-344-0970

ですが、一粒一粒の種がこの頃から蒔かれていたのだなと思われてなりません。

私にとって隼雄先生は生徒の時ほんの僅かの時間しかお会いすることがありませんでしたが、清心寮西の常谷橋を奥様とこいつしよに歩く姿にいろいろな思いを後になつて感ずることがありました。

昔は良かったなどと思っているわけではないので、その点にご理解いただければと思います。

湯浅正次理事長さんは、父湯浅三郎さんの遺志を継がれて新島学園を創立したわけですが、私などには到底気のつかない多くのご苦労や心配があつたことと思います。事務室に用事があつて伺うと湯浅さんがおいでになり、事務長さんの横に椅子を持って腰かけ、何やら打ち合わせか相談をしている姿を目にすることがありました。時には

むずかしい相談をしたりとは思いますが、私にとつてはいつも温和な雰囲気醸し出して下さっている方だと映っておりました。後になって事務長さんとは、先生方は生徒のために一生懸命やっして下さい、後の責任は私が持ちます、と湯浅さんは云っているという事を聞きました。柏木義田牧師の考え方にも通じているのだとも感じました。

安中教会での日曜礼拝の時などもお会いしご挨拶をする、ああ神戸さん、ご苦勞様と声をかけられ、ありがたいなと思いました。

一方、学園のことについてのお気持ちを、自分もしっかりしなくてはと思うこともあり

玄関で脱がれた湯浅さんの靴を見た時、はじめは誰のものかわかりませんでしたが、靴の底に湯浅と名前が書いてあるのに、アツと驚きました。あとでそつと伺つてみたのですが、ここにこしながら、いろいろな所で脱ぐ機会があるので、自分の靴がすぐわかるように、間違わないように書いていると聞きました。なる程と思うことと、それだけではない思いもあるのではないかと感じました。

創立40周年記念事業として礼拝堂の建設が始まり、1988年に献堂式が行われ、パイプオルガン設置についても計画が始まりました。新藤校長より湯浅さんから具体的に計画を進めるようにとの話があり、段取りを踏まえながら準備が進み、1990年に奉献式を迎えることができました。

湯浅さんからは、良い楽器を、毎朝の礼拝を通して生かせる楽器を、将来に向けて応援して下さいと皆さんに、コンサートなどを通して還元できる様な楽器を、というお話を伺いました。奉献式の中で献杯の儀式を行い

ましたが、湯浅さんがうつすらと目に涙を浮かべていたのが印象的でした。事務室で話されている姿と重ね合せ、この楽器を礼拝や行事を通して生かしていかなければ、と強く考えさせられました。

岩井文男校長先生とは、生徒としての校長先生との時間が長く、教員としては僅か半年という短い期間でありました。幸いにもそれ以外で接する期間もあつたので、ありがたかつたと思つています。湯浅さんとの関係も私なりに感じる事ができました。岩井先生追悼礼拝の時、肩を落とされている姿にはつらいものがありました。「敬虔なるリベラリスト岩井文男の思想と生涯」に先生の人と成りが書かれています、新島学園への思いが感じられます。

私は多くの学園を支えて下さつた方々の思いを自分なりに受け継いで、伝えていかなければと思つていました。音楽の授業を担当して、生徒の皆さんにはいろいろなお気持ちを抱かせてしまつた事もあつたかとは思いますが、ご容赦いただければと思います。しかしながら、礼拝の時間を皆さんと一緒に過ごす時、前奏なり讃美歌の伴奏において漠然とした云い方ではあります、支えて下さっている方々が伝えられるようにとの思いで弾かせてもらいました。礼拝後、茶目氣たつぷりに、今日間違つたところあつたら、と云われ、裝飾音だよと逃げた事もありましたが、皆さんの耳が知らず知らずのうちに肥えてきたなど嬉しくもありました。

終りに話を戻しますが、学園の原点を大切に、ブレずに勇氣を持つて歩んで行く事が大事なことを思います。岡部鎗三郎先生作詞の校歌の詞に「まゆあげて語らん誇らかに」とあります。この校歌にうたわれている詞にも、すごいものがあると感

育唱として、ピアノ・オルガンの伴奏で管楽アンサンブルの伴奏と対応できる様になっていきます。機会のある毎に声高らかに

に歌つて欲しいと願っています。私も自分なりの立場で更に教えられ、思いを共に感じ伝えることができたかと考えています。

新島学園同窓会・同期会

開催状況

(2012年10月以降)

同期会

第3期生同期会

日時 2012年10月18日(木) 19日(金)
場所 磯部温泉「磯部ガーデン」(安中市磯部)
参加者 28名

第5期生同期会

日時 2012年10月27日(土) 28日(日)
場所 磯部温泉「磯部ガーデン」(安中市磯部)
参加者 21名

第25期生同期会

日時 2012年11月3日(土) 18時〜
場所 「高崎ビューホテル」(高崎市柳川町)
参加者 50名

第39期生同期会

日時 2012年11月3日(土) 18時〜
場所 「エテルナ高崎」(高崎市栄町)
参加者 卒業生106名、恩師3名(小瀧先生、山田先生、半田先生)

第8期生同期会

日時 2012年11月6日(火)〜

7日(水)

場所 「妙義グリーンホテル」(富岡市妙義町)
参加者 25名

第48期生同期会

日時 2013年1月5日(土)
場所 「エテルナ高崎」(高崎市栄町)
参加者 卒業生62名、恩師2名(高橋先生、永井先生)

第35期生同期会

日時 2013年2月9日(土)
場所 ホテル「メトロポリタン高崎」(高崎市矢島町)
参加者 86名

第15期生同期会

日時 2013年5月27日(月)〜 28日(火)
場所 はまゆう山荘
参加者 26名

第27期生同期会

日時 2013年6月8日(土)
場所 「エテルナ高崎」(高崎市栄町)
参加者 卒業生68名、恩師2名(小瀧先生、小関先生)



第35回同窓会

ゴルフ大会報告

■日時 平成25年9月8日(日)
■会場 安中市ローズベイカントリークラブ

9月8日(日)、安中市ローズベイカントリークラブにおいて雨模様の中、ゴルフ大会が開催されました。今年は28期・34期の同窓生が幹事を担当され、過去不参加の期の方達に声を掛け、参加人数は153名(女子14名)の盛大な大会となりました。

ラウンド後の表彰式パーティーには、大平理事長・狩野学長に参加していただき、学園の近況報告をしていただきました。

表彰式では同窓生による沢山の協賛商品の下、順位結果に一喜一憂し、学園時代にもどり、期を超えた交流も盛んに行われました。

来年の開催は2014年9月15日(月・祝)同じローズベイカントリークラブで行う予定です。

幹事担当は29期・35期の皆さんです。今年参加の皆様はもとより、特に30・40・50期代の皆様の積極的な参加を期待しています。



結果報告(敬称略)					
優勝	● 外 処 一 (17期)	アウト39	イン40	ネット69.4	
女子優勝	● 宮 崎 寛 子 (30期)	アウト50	イン46	ネット74.4	
ベストグロス	● 神 宮 克 己 (21期)	アウト36	イン39	グロス75	
準優勝	● 成 良 正 明 (27期)				
3 位	● 斉 藤 郁 也 (14期)				
4 位	● 野 口 政 喜 (21期)				
5 位	● 和 田 実 (21期)				
6 位	● 小 山 哲 弘 (23期)				
7 位	● 森 田 岳 志 (26期)				
8 位	● 相 原 靖 仁 (35期)				
9 位	● 真 下 隆 夫 (16期)				
10 位	● 染 谷 博 宣 (25期)				

株式会社 有田屋

取締役会長 湯浅 太郎 (4期)
代表取締役 湯浅 康毅 (37期)
専務取締役 湯浅由香子 (37期)

〒379-0116
安中市安中2-4-24
☎ 027-382-2121
FAX 027-382-2516

株式会社 ローズベイカントリークラブ

支配人 古田 正浩

〒379-0105
安中市小俣1037番地
☎ 027-382-4111
FAX 027-382-4114

(株)AQUA アクア整骨院

代表取締役 湯浅 伸 (36期)

〒370-0833
高崎市新田町5-8
☎・FAX 027-327-6133

上原写真館

代表 上原 将智 (36期)
香子 (36期)

〒379-0116
安中市安中2-9-0-12
☎・FAX 027-381-1674

各地区根笹会

安中

安中根笹会 会長

茂木正毅

安中根笹会の第2回総会・懇親会が平成25年7月13日(土)、市内の並木苑で開催されました。母校から大平理事長、中島同窓会長、各地区根笹会の会長を御来賓として迎え、130名を超える会員が参加して賑やかに総会が開かれました。

平成24年度の事業報告・会計決算報告、今年度の事業と予算案が原案を通り決定されました。総会に引き続き講演会が行われ、講師の淡路博和先生に今最も話題性の高い「新島襄先生について」と題してお話をさせていただきました。新島襄先生が2つの大きな決断をしていたのだとお陰でこの新島学園が存在するし、私達もこの様にその同窓生として集まれるのだという事がわかりました。感謝です。淡路先生ご講演ありがとうございました。

続いて懇親会では、まず母校の管楽アンサンブル部の皆様の演奏で元氣よく校歌を歌い、そして軽快で力強い演奏を聴かせていただきました。昨年と比べて格段に上手になっている管楽アンサンブル部の皆様に感謝とエールを送ります。懇親会は各所で盛り上がり、先輩、後輩の懐かしい顔合わせがあつたりして楽しい会となりました。締め



した。

来年も7月頃の開催を予定しております。安中在住の同窓生の皆様にはぜひご都合をつけて頂き参加下さいませよう、そしてお仲間にもご連絡いただきまして多数の参加の下、開催したいと考えております。どうぞよろしく願ひ致します。



富岡から

富岡かんら根笹会 会長

寺田侑弘

昨年2012年11月10日(土)に開催した3回目の富岡かんら根笹会は、ゲストOBとして、富岡市出身の38期生『落語家 6代目 古今亭今輔』こと水口直樹君を迎え総勢52名で楽しい時間を過ごしました。

富岡かんら根笹会は毎年11月の第二土曜日に開催されます。今年は9日となります。

参加資格は特にありませんので、富岡甘楽地区に限らず新島学園OB・OGであればどなたでも大歓迎です。お誘い合わせの上、多くの方の参加をお待ちしております。

連絡先
会長 寺田侑弘 (7期生)
090-3098-2178 y.terada@

dalichi-seni.com
事務局 田口慎一郎 (38期生)
090-8746-1568 shinchiro_t@mokube.jp



前橋

前橋根笹会 会長

上田 茂

今年度前橋根笹会は隔年開催の年にあたり、6月18日と8月30日に幹事会を開催し、総会を左記の日時に実施することが決定いたしました。前橋根笹会は市内在住の卒業生だけの集まりではなく、他地区の卒業生の方にも参加していただき、親交を深めていきたいと思ひます。多くの皆様の参加と心よりお待ちしております。

日時 2013年10月19日(土)
場所 群馬県庁 31階 ヴォレシニュー

TEL 027-220-1600
会費 男性 6000円
女性 5000円

連絡先 事務局 山本尚一 (27期)
携帯090-9006-13283

伊勢崎佐波

お弔み

伊勢崎佐波根笹会 会長

天田清之助
伊勢崎佐波根笹会を立ち上げ、

長い間会長としてご活躍をいただいた下城好一郎さん(3期生)が病氣のため平成25年7月26日にご逝去されました。

歌舞伎やクラシック音楽に関して大変造詣が深く、当根笹会メンバーに大きな影響を与えて下さいました。当根笹会の精神的支柱として下城さんは大きな存在でしたので、本当に残念でなりません。また、第10代同窓会会長としても4年間同窓会発展の為に尽力されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

東京

長い混迷の中から、

明るい兆しが

東京根笹会 会長

松本政之

東京根笹会総会、懇親会を7月5日プレスクラブにて140名の出席者で開催致しました。大平理事長、岩間新校長始め学園経営幹部の皆様、そして同窓会から中島新会長始め本部役員の方々に列席を頂きました。

会場での交歓の話題も、昨年とは少し様相が変わりました。政治、経済の政策も変化が始まり、社会状況の閉塞感に、少し変化と明るい兆しが出て着た様に感じました。戦後、物心両面で荒廃した日本の復興に貢献する人材を育てるの理念をもつて建学された学園を巣立った我々は、社会が大変な時に、精一杯力を尽くして行きたいものです。

さて、本母校学園では、岩間新校長が就任され、本会に於いても、学園教育についての基本的な考え方、既に実行している施策を述べられ、また、積極的に会員の中にはいられ、精力的に対話をされました。多くの会員から、期待の声が聞かれました。岩間氏は米国に於いて10年余り経営者として、実績を上げ日本に戻って、グローバルな視

野で会社の中核をになつてきた、アクティブなクリスチャンです。歴史ある学園に、新風を吹き込み、学園の蘇生、更なる発展に貢献されることを期待致しますよう。

来年の総会は7月4日(金)です。



軽井沢

軽井沢根笹会の設立

軽井沢根笹会 会長

小山 宏

昨年(2012年)根笹会松本長光会長、大平理事長等が軽井沢に訪れてくれました。

この事前に同期の神宮氏から軽井沢に根笹会設立の件で理事長と会長が来訪されると連絡が入っていました。当日は松本・大平・神宮氏はじめ学校の事務方からも力強い応援があり軽井沢恵シヤレーで最初の顔合わせと根笹会設立の要請が伝えられ、同時に松本会長から設立に向けての意思決定を求められました。

お話の趣旨からしてこれをお断りする理由もなく、まずはこの軽井沢で準備会を開くことになりました。

準備をするにあたり、富岡根笹会の寺田会長(同期生)からは設立総会の準備の為に見学に来るよう誘われて富岡根笹会の総会に参加させていただきました。後々これが軽井沢根笹会発足の時に大きな手助け、勉強にもなり大変ありがたい配慮をいただきました。

ただきました。

同時に軽井沢在住の新島OB達の完璧な支援をいただきながら2013年5月に軽井沢根笹会の創立となりました。

わたしは長野県からの新島学園の最初の卒業生(7期)という事で声がかかったのでしょう。(正確に申しますと私は小諸の中学を卒業し高校からの入学です。このとき既に中学には中島武秀・弘光兄弟は在学をしていました。)高校から入学した私が先に卒業したのです。

中島兄弟は大変優秀な兄弟で後の長野からの入学希望者の大きな導き手になりました。ご両親は小諸教会の牧師で幼稚園の園長先生でもありました。私はその幼稚園を卒園し中島牧師の推薦により入学し、寮生活を共にして岡部・石田両先生の薫陶を受け多感な時代を過ごしました。日曜は石造りで立派な安中教会の礼拝に行くのが楽しみでした。独特の雰囲気のある江守先生の礼拝説教を楽しみにしていました。

高1の時に小諸教会の中島牧師により受洗しその後学生時代はYMで活動をし現在は軽井沢教会附属の軽井沢幼稚園の園長を命ぜられております。

この幼稚園からも新島を選択した後輩達が何人も毎朝バス通学しております。私は新島の長野県の支援応援団として与えられた使命を果たしたいと考えております。

終わりに軽井沢根笹会設立に当たり先輩根笹会の諸兄学校事務局全ての準備を整えてくれた軽井沢在住のOB達に感謝申し上げます。

埼玉

埼玉根笹会 代表世話人

齋藤 勝

平成24年5月21日に、第1回埼玉根笹会を埼玉グランドホテル深谷にて開催を致しました。

有限会社 小森谷商店

代表取締役 小森谷 剛 (37期)

〒370-0873
高崎市下豊岡町575

☎ 027-323-2530
FAX 027-323-8108

国際警備 株式会社

専務取締役 山崎 健 (37期)

〒370-0046
高崎市江木町1525

☎ 027-327-5500
FAX 027-327-7799

株式会社 マエコム

代表取締役 前田 賢一 (37期)
専務取締役 前田 誠 (42期)

〒371-0846
前橋市元総社町3-5-28

☎ 027-280-3240
FAX 027-251-7964

株式会社 ヤマハチクボニワ

代表取締役 久保庭 哲夫 (37期)

〒379-0116
安中市安中2丁目5-15

☎ 027-381-0435 (代)
FAX 027-382-6364



招待客、一般会員350名に往復ハガキで発送し（御招待客には封書にて）返送は133通、不在返送20通、出席36通、欠席97通、出席者の内訳、招待客14名、会員22名、計36名でした。以上のメンバーにて第1回埼玉根笹会、設立準備総会、懇親会を開催致しました。

埼玉県は新島学園出身者にとつては、北部の本庄、深谷、熊谷位までの出身者以外は殆どが結婚か仕事の関係で移り住んだ人が大多数であります。又、当県は東京に向かつての路線は出来ていますが、横のアクセスが誠に不便な所であり、一県で1ヶ所の根笹会は大変無理があると感じております。時間がかかるかもしれません、もう1ヶ所埼玉県南部に設立しようと考えております。孤軍奮闘の日々でありましたが、会の最後の集合写真を各自に郵送しました所、39期の女性の方より、写真の御礼と共に開催に対しての感謝の気持ちを伝える御手紙を頂き、空なる心が大変救われました。

目まぐるしく変化する社会状況ですが、我々新島学園出身者は、あの草創期の恩師の先生方の生き方を範として生きて行くではありませんか。

2012年度同窓会決算報告

一般会計

2012年度 収支決算書

(2012.4.1～2013.3.31)

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考
前年度繰越金(1)	2,069,584	2,069,584	0	
同窓会費収入	2,190,000	2,190,000	0	10,000×（1名+218名） (2012年度卒業生)
名簿代収入	0	27,200	27,200	3,400円×8冊
利息収入	4,000	3,087	－913	定期 2,888円 普通 199円
雑収入	300,000	310,000	10,000	根笹広告料他
収入小計(2)	2,494,000	2,530,287	36,287	
収入合計(1)+(2)	4,563,584	4,599,871	36,287	

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考
印刷費	300,000	25,000	-275,000	同窓会報 根笹印刷費
会議費	400,000	332,140	-67,860	総会
事務費	100,000	120,770	20,770	コピーリース 16,380円 使用料 104,390円
消耗品費	20,000	37,824	17,824	総会用名札等
遠征費補助金支出	250,000	0	-250,000	
同窓会等助成金支出	300,000	300,000	0	各期同窓会12 地区根笹会補助6
旅費交通費	50,000	8,580	-41,420	
通信費	200,000	134,692	-65,308	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	250,000	212,100	-37,900	ホームページ 124,950円 根笹 87,150円
同窓会主催事業費	180,000	189,900	9,900	ゴルフコンペ、音楽会協賛金
学園祭協賛金	0	0	0	
雑費	10,000	25,313	15,313	
予備費	50,000	0	-50,000	
支出小計(4)	2,110,000	1,386,319	-723,681	
当年度収支差額(2)-(4)	384,000	1,143,968	759,968	
次期繰越(5)	2,453,584	3,213,552	759,968	
支出合計(4)+(5)	4,563,584	4,599,871	36,287	

注：予算差異の－は、予算未達成を意味する。

収支決算 財産目録

(単位：円)

資産の部	決算額
現 金	36,278
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	3,177,274
繰越金残高計(a)	3,213,552
固定性定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)	15,213,552

一般会計

2013年度 収支予算書

(2013.4.1～2014.3.31)

収 入

(単位：円)

科目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
前年度繰越金(1)	2,069,584	3,213,552	1,143,968	
同窓会費収入	2,190,000	2,020,000	-170,000	10,000×202名 (2013年度卒業生)
名簿代収入	27,200	0	-27,200	
利息収入	3,087	4,000	913	前年実績
雑収入	310,000	300,000	-10,000	根笹広告料他
収入小計(2)	2,530,287	2,324,000	-206,287	
収入合計(1)+(2)	4,599,871	5,537,552	937,681	

支 出

(単位：円)

科 目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
印刷費	25,000	50,000	25,000	根笹印刷
会議費	332,140	400,000	67,860	総会費・会議費
事務費	120,770	100,000	-20,770	コピーリース料・使用料
消耗品費	37,824	20,000	-17,824	
遠征費補助金支出	0	300,000	300,000	部活動全国大会出場補助
同窓会等助成金支出	300,000	400,000	100,000	同窓会・地区根笹会補助
旅費交通費	8,580	20,000	11,420	事務局関係旅費
通信費	134,692	150,000	15,308	電話料金・案内はがき等
根笹編集関連費	212,100	250,000	37,900	ホームページ更新料・根笹作成料
同窓会主催・共催事業費	189,900	200,000	10,100	ゴルフコンペ・コンサート補助
学園祭協賛金	0	300,000	300,000	
雑費	25,313	30,000	4,687	
予備費	0	30,000	30,000	
支出小計(4)	1,386,319	2,250,000	863,681	
当年度収支差額(2)-(4)	1,143,968	74,000	-1,069,968	
次期繰越(5)	3,213,552	3,287,552	74,000	
支出合計(4)+(5)	4,599,871	5,537,552	937,681	

予算案 財産目録

(単位：円)

資産の部	前年実績	予算額
現 金	36,278	0
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	3,177,274	3,287,552
繰越金残高計(a)	3,213,552	3,287,552
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000	12,000,000
正味財産(a)+(b)	15,213,552	15,287,552

根笹基金

2012年度 収支決算書

(2012.4.1～2013.3.31)

収 入

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	15,365,651	定期預金15,000,000 普通預金365,651円
寄附金収入	151,000	ゴルフ大会
利息収入	3,651	定期預金利息3,586円 普通預金利息65円
雑収入	0	
収入小計(1)	154,651	
合 計	15,520,302	

支 出

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
褒賞費	115,000	ギフトカード
賞状代	25,200	賞状15枚・丸筒15個
雑費	315	残高証明書
支出小計(2)	140,515	
当年度収支差額(1)-(2)	14,136	
次期繰越金	15,379,787	
支出合計	15,520,302	

根笹基金 財産目録

資産の部

(単位：円)

普通預金 群馬銀行/安中支店No.741658	379,787
定期預金 群馬銀行/安中支店No.378360	15,000,000
正味財産	15,379,787

しののめ信用金庫

理事長 瀬下 信

〒370-2316

富岡市富岡1123番地

☎ 0274-62-3111

FAX 0274-63-6086

株式会社 まるいち

代表取締役 田口慎一郎 (38期)

〒370-2316

群馬県富岡市富岡1340

☎ 0274-63-1331

FAX 0274-63-1333

三和ネオン 株式会社

東京本社：

東京都中央区銀座2-10-6

☎ 03-3543-1491 (代表)

高崎工場：

高崎市上豊岡町571-7

☎ 027-343-3611 (代表)

舌切雀のお宿

ホテル磯部ガーデン

代表取締役 櫻井 太作 (38期)

高橋 和之 (9期) 白田 薫 (27期)

櫻井 尚子 (35期)

〒379-0127 安中市磯部1-12-5

☎ 027-385-0085

FAX 027-385-0055